

令和 8 年 10 月 13 日
国土交通省関東地方整備局
統括防災グループ・河川部

酒々井町馬橋地区の住宅地における浸水解消について

令和 8 年台風第 25 号により発生した酒々井町の住宅浸水被害について、関東地方整備局は TEC-FORCE（緊急災害対策派遣隊）を派遣し、千葉県、酒々井町への技術的支援、ドローンによる調査、排水活動を続けてきたところです。

加えて、10月6日より住宅地の浸水の早期解消に向けて、排水を強化するための作業に対する工事監督支援を行ってきましたが、10月13日14時30分時点で住宅地における浸水が解消しましたのでお知らせいたします。

既設水路は埋没した状態が続いており、大雨が降った場合には再度水位が上昇する可能性があります。

引き続き、酒々井町が実施している排水作業への技術的支援を行い、下流の湛水解消に努めます。

【現在の対応状況】

- ・既設函渠へのポンプ排水を継続（既設函渠入口の一部を掘り起こし、既設函渠へポンプによる排水を実施中）
- ・排水ポンプの増設に向けて、排水用管路の設置作業を継続 他

<発表記者クラブ> 竹芝記者クラブ 神奈川建設記者会 埼玉県政記者クラブ
千葉県政記者会 千葉市政記者会

<問い合わせ先>

（酒々井町への支援に関すること）

関東地方整備局 統括防災グループ

電話：048-600-1421（直通）

防災対策技術分析官 宮本（みやもと）

（排水作業の工事監督支援に関すること）

関東地方整備局 河川部

電話：048-600-1335（河川計画課直通）

メールアドレス：ktr-kawakei_kikaku@gxb.mlit.go.jp

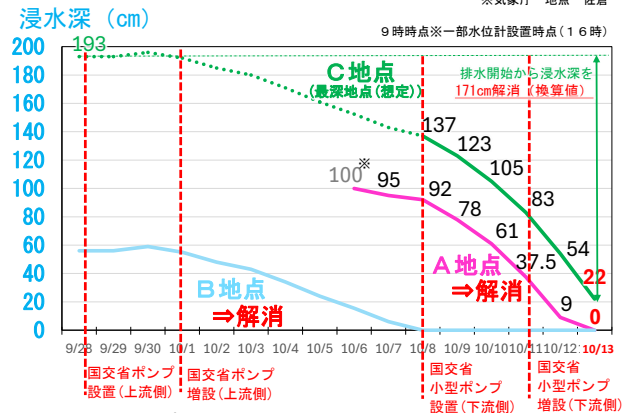
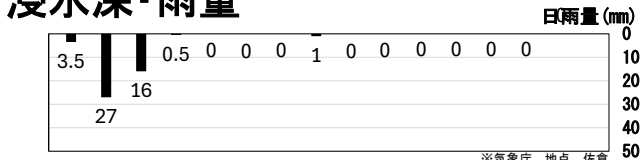
河川調査官 檜森（ひもり）



日雨量 (mm)

0
10
20
30
40
50

地点 住倉



※酒々井町ポンプが9月21日より稼動しています
 ※周辺の浸水箇所の中で最も深い場所に水位計を設置したものではないため、
 浸水範囲内での最大浸水深を示したものではありません
 ※A、C地点は、双眼鏡による観測のため、誤差を含んでいる可能性があります
 ※折れ線グラフの破線部分は他地点推移からの換算値です

拡大図



■浸水状況

